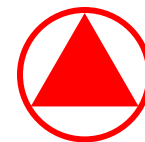


*Better Health, Brighter Future*



# 収益力向上の成長戦略

## 2017年度第2四半期

2017年11月1日

代表取締役 社長CEO  
クリストフ・ウェバー

チーフ メディカル&  
サイエンティフィック オフィサー  
アンドリュー・プランプ

チーフ フィナンシャル オフィサー  
ジェームス・キーホー



# 重要な注意事項

## 将来見通しに関する注意事項

本資料には、見積り、予測値、目標値及び計画値等の、当社の将来の事業、財務状態及び経営成績に関する「見通し情報」が含まれています。これらの見通し情報は、「目指す」、「予測する」、「仮定する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「予想する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「見通し」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「試算」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」及びその類義語（これらに係る否定的な表現も含まれます。）等の将来予測に関する用語の使用、又は戦略、計画若しくは意図に関する議論により特定可能な場合があります。

本資料中のあらゆる見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の現時点における仮定及び判断に基づいています。かかる見通し情報に関して、当社及び当社の経営陣は将来の業績に係るいかなる保証もするものではなく、また、当該見通し情報には、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要素が含まれています。そのような要素の例としては、日本、米国及び世界全体の一般的な経済情勢を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競争圧力及び競争の激化、適用法令、新製品開発計画の成否、規制当局の決定及びそのタイミング、為替相場の変動、製品又は開発品の安全性や有効性に関するクレーム又は懸念、並びに買収対象会社との経営統合等がありますが、これらに限定されるものではなく、またいずれかの要素に起因して、当社の実際の業績や財務状態が、見通し情報により表示又は示唆されている将来の業績や財務状態から大きく乖離する可能性があります。当社及び当社の経営陣は、見通し情報において表示されている予測が現実となることを保証するものではなく、実際の業績は予測と大きく異なる可能性があります。

本資料に含まれる見通し情報は、本資料の日付時点のものに過ぎず、今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社及び当社の経営陣は、本資料に含まれる見通し情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

## 製品情報に関する注意事項

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、製品を宣伝・広告するものではありません。



# 変革の推進により収益力が向上した上期実績

- **優先事項の着実な進捗**

- Grow Portfolio (事業ポートフォリオの成長)
- Rebuild Pipeline (研究開発パイプラインの再構築)
- Boost Profitability (利益率の向上)

- **売上と利益の力強い成長**

- 実質的な売上収益 +6.7%
- 実質的なCore Earnings +44.4%

- **2桁台のEPS成長**

- 実質的なCore EPS +29.9%
- EPS (財務ベース) +39.2%

- **下期は逆風も年間見通しを上方修正**



## 優先事項の着実な進捗

### Grow Portfolio

- 実質的な売上収益は+6.7%、成長ドライバー +14.9%が牽引
- 主力製品の力強い売上実績
- 想定を上回るARIAD社の買収成果

### Rebuild Pipeline

- 革新的な開発課題の推進（TAK-935、TAK-906、TAK-659をPh-2に進め、ベドリズマブを潰瘍性大腸炎の効能で日本で申請）
- 研究開発体制の変革は順調に進捗し、組織再編はほぼ完了
- 2017年度にバイオテック企業/アカデミアと28件の新たな提携

### Boost Profitability

- 実質的なCEは+44.4%、対売上収益比率は+500bps
- EPS（財務ベース）+39.2%、実質的なCore EPS +29.9%
- 2017年度の年間見通しを上方修正



## 中期的な優先事項 : Grow Portfolio

**Grow  
Portfolio**

**Rebuild  
Pipeline**

**Boost  
Profitability**

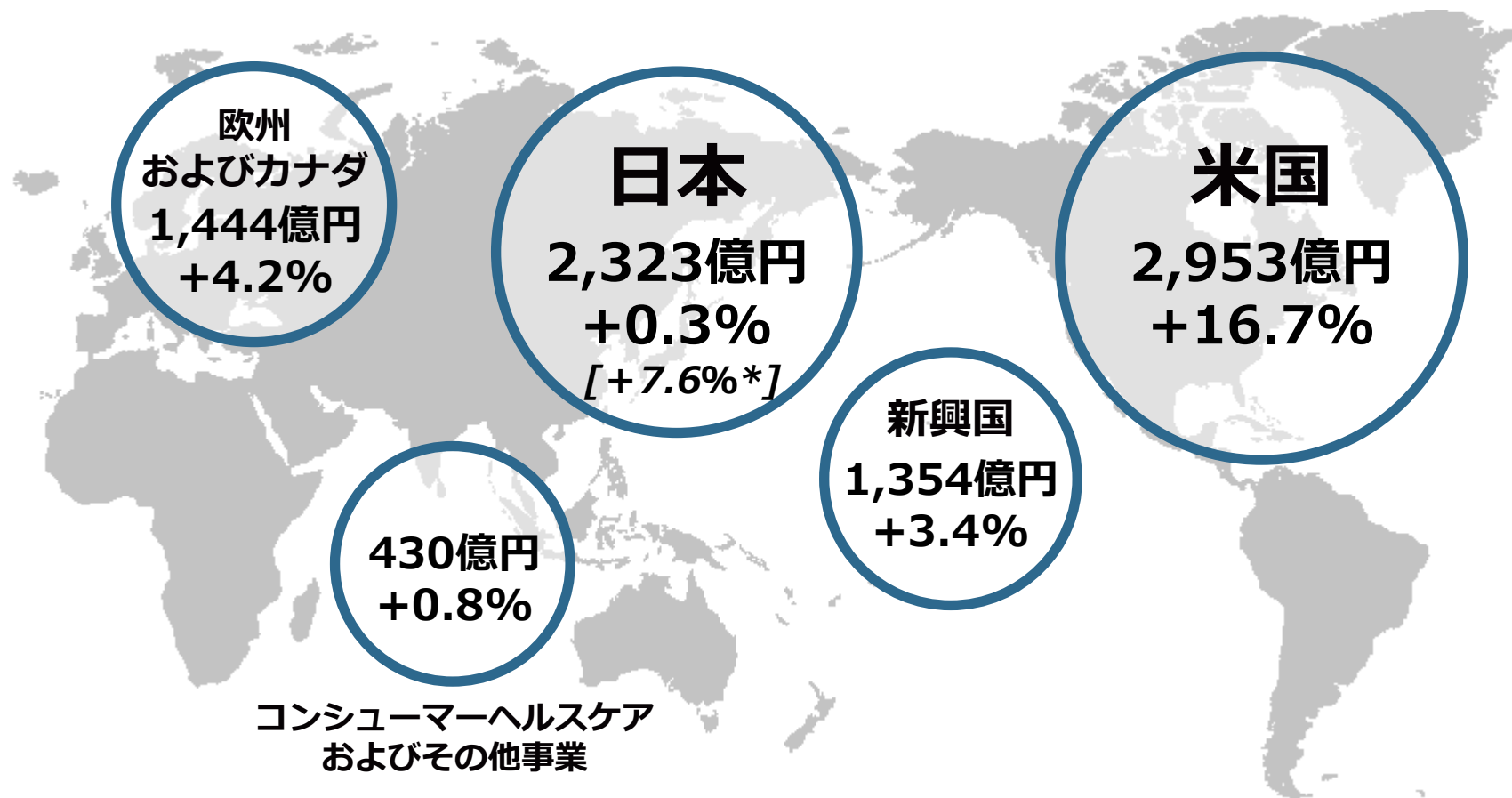
### 中期的な優先事項

- 成長ドライバーの主力製品に注力
- スペシャリティ事業の実力強化
- 資産売却および取得の機会追求



# 全ての地域で実質的な売上収益が成長

2017年度上期 実質的な売上収益: 8,503億円 +6.7%





## 成長ドライバーは力強い+14.9%の売上成長

### 2017年度上期 実質的な売上収益の成長

#### 成長ドライバー

消化器系疾患	+24.8%
オンコロジー	+13.2%
中枢神経系疾患	+26.7%
新興国事業	+3.4%
<b>合計</b>	<b>+14.9%</b>

タケダ連結売上の成長ドライバー比率62%









# 主力製品の力強い売上実績

FY2017 上期 実質的な成長

上期

対前年同期

製品のアップデート

		上期	対前年同期	製品のアップデート
GI		955億円	+43.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続的なシェア獲得、新たな承認国が加わり伸長に貢献</li> <li>現在62カ国で承認を取得、53カ国で発売</li> </ul>
		253億円	+83.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本での酸関連疾患治療剤のカテゴリにおいてシェアを獲得</li> <li>2018年の薬価改定における薬価引き下げの可能性は排除できない</li> </ul>
Oncology		214億円	+63.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>49カ国で承認を取得、引き続き世界各国で承認をめざす</li> <li>新たな治療セッティングでのピボタル試験結果は2018年度の見込み</li> </ul>
		187億円	+28.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続的な地域拡大と成長</li> <li>欧州におけるFLホジキンリンパ腫の申請と再発性CTCLの承認を見込む</li> </ul>
		8億円	N/A (2017年5月上市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国での良好な立ち上がり、欧州での上市準備</li> <li>フロントラインNSCLC試験の患者さん組み入れ完了</li> </ul>
CNS		232億円	+58.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国でブランド薬にてうつ病治療を開始する患者さんの間で60%以上のシェア</li> <li>複数のチャネルを通じた患者さんへのエンゲージメント</li> </ul>

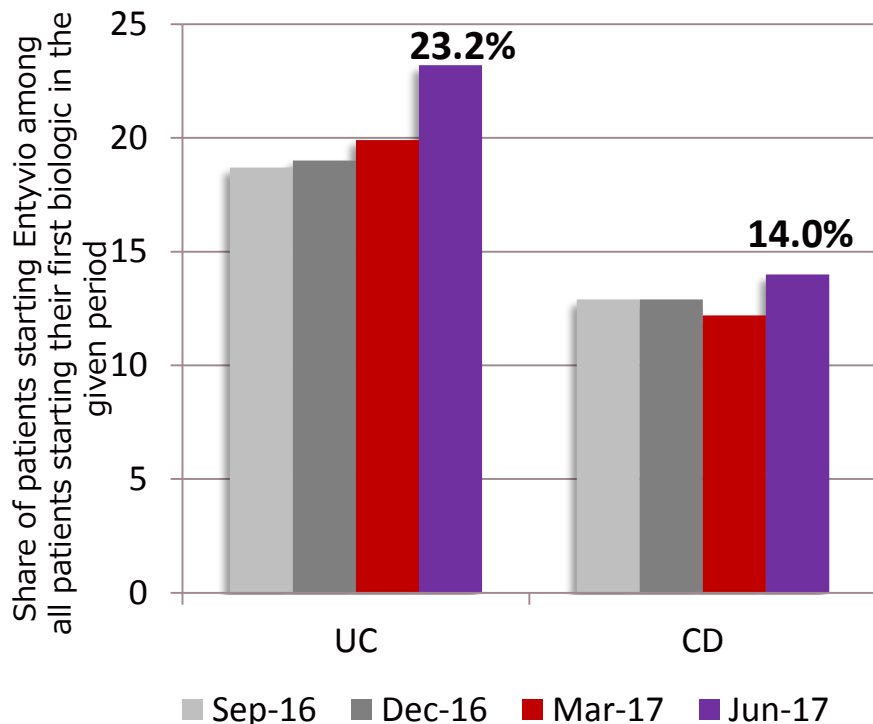




# 力強いマーケットシェア

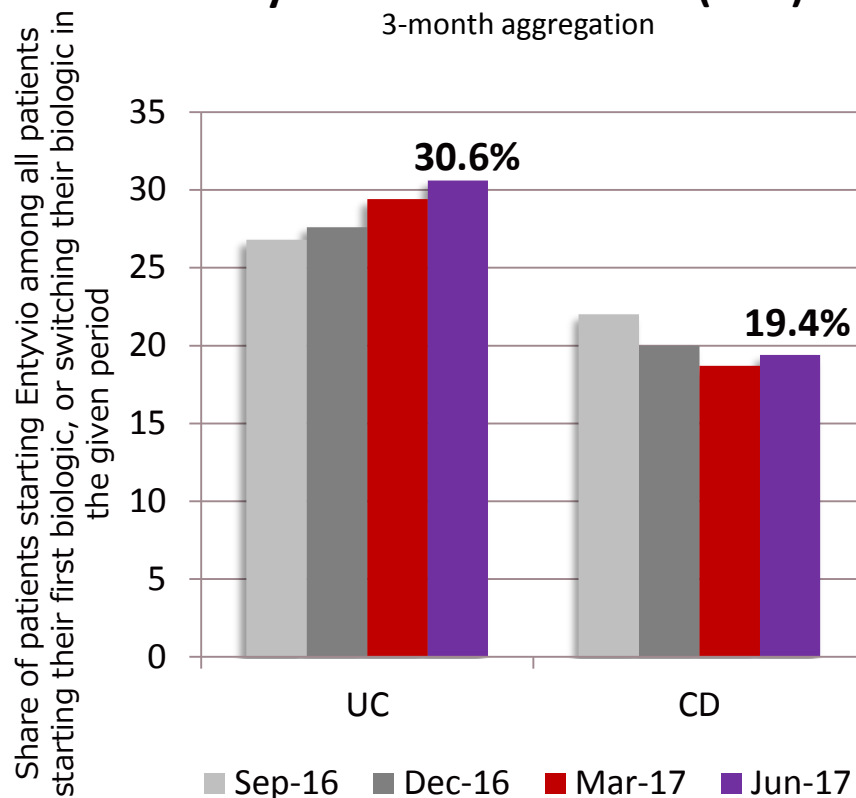
## Bio-Naïve Patients (new starts) (U.S.)

3-month aggregation



## Dynamic Market Share (U.S.)

3-month aggregation

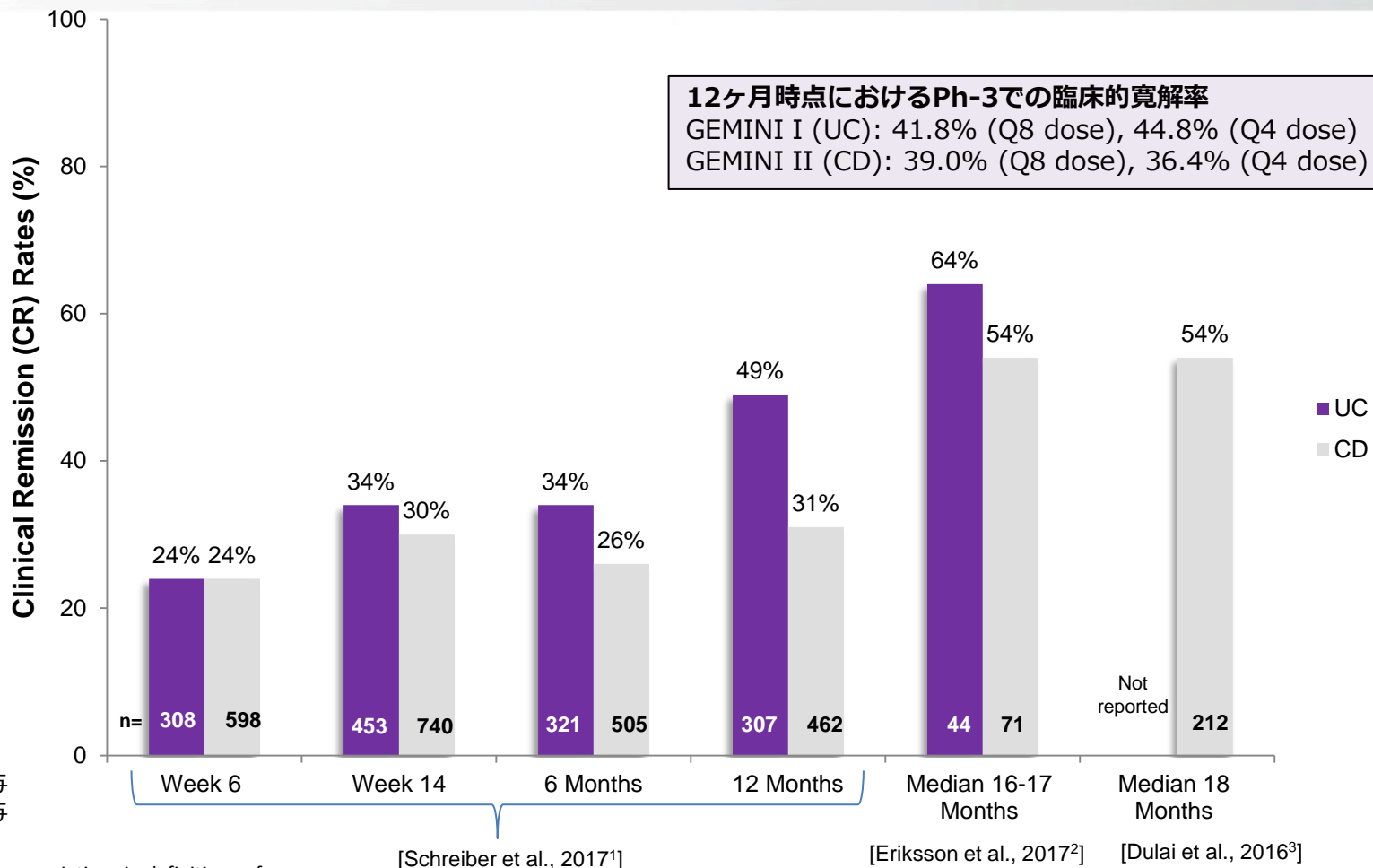


UC: 潰瘍性大腸炎

CD: クロウン病



# 実臨床で投与開始から一年後に認められる有用性と GEMINI試験での有用性は一致



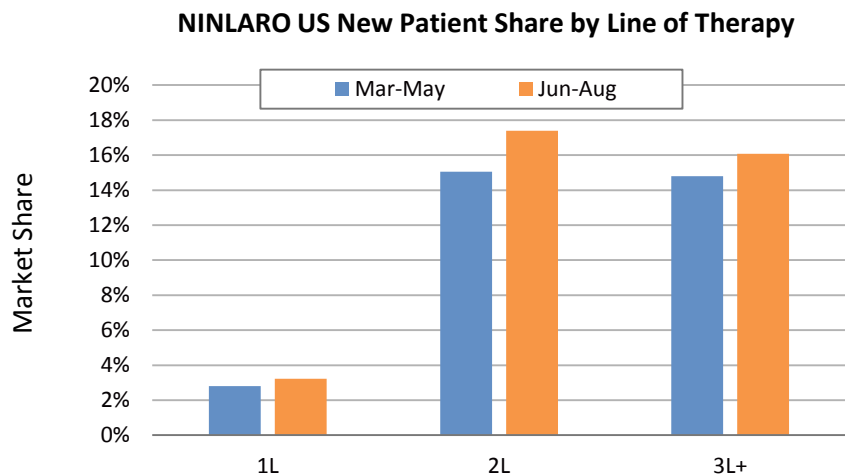
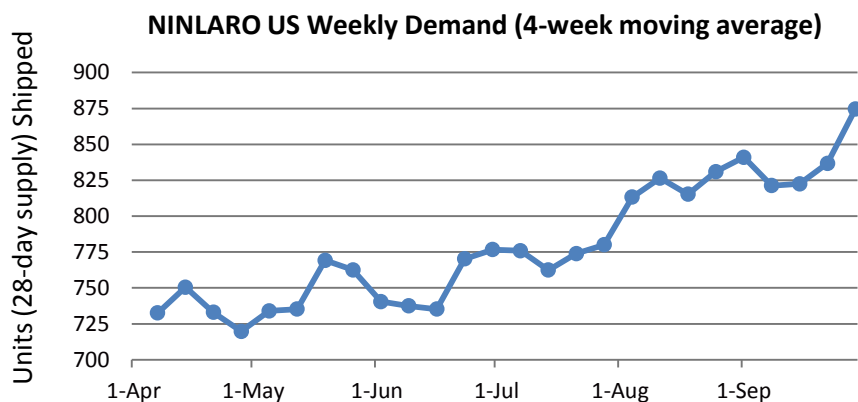
UC: 潰瘍性大腸炎  
 CD: クロウン病  
 Q8: 8週ごとの投与  
 Q4: 4週ごとの投与

Note: there are some minor variations in definitions of "Clinical Remission" between each of the studies

1. Schreiber et al. (2017). "Real-World Effectiveness of Vedolizumab over One Year in Inflammatory Bowel Disease": a Meta-analysis. ECCO 2017: P466  
 2. Eriksson et al. (2017). "Long-term effectiveness of vedolizumab in inflammatory bowel disease: a national study based on the Swedish National Quality Registry for Inflammatory Bowel Disease (SWIBREG)". *Scandinavian Journal of Gastroenterology*, DOI: 10.1080/00365521.2017.1304987  
 3. Dulai et al. (2016) "The Real-World Effectiveness and Safety of Vedolizumab for Moderate-Severe Crohn's Disease: Results From the US VICTORY Consortium". *American Journal of Gastroenterology*, DOI: 10.1038/ajg.2016.236



# 再発・難治性の多発性骨髄腫での売上高は前四半期に比べ17%増加



Note: 1L not promoted

Source: IntrinsiQ Intelliview; most recent data to Aug-2017. Rolling 3-month view.

## 売上高は二桁成長

- 全世界: Q2の売上高は115億円 (Q1と比較して +16.5%)
- 米国: Q2の売上高は100億円 (Q1と比較して +11.9%)
- 世界各国で上市することにより成長
  - 現在49カ国で承認、16カ国で発売中
  - 日本では2017年5月に発売開始

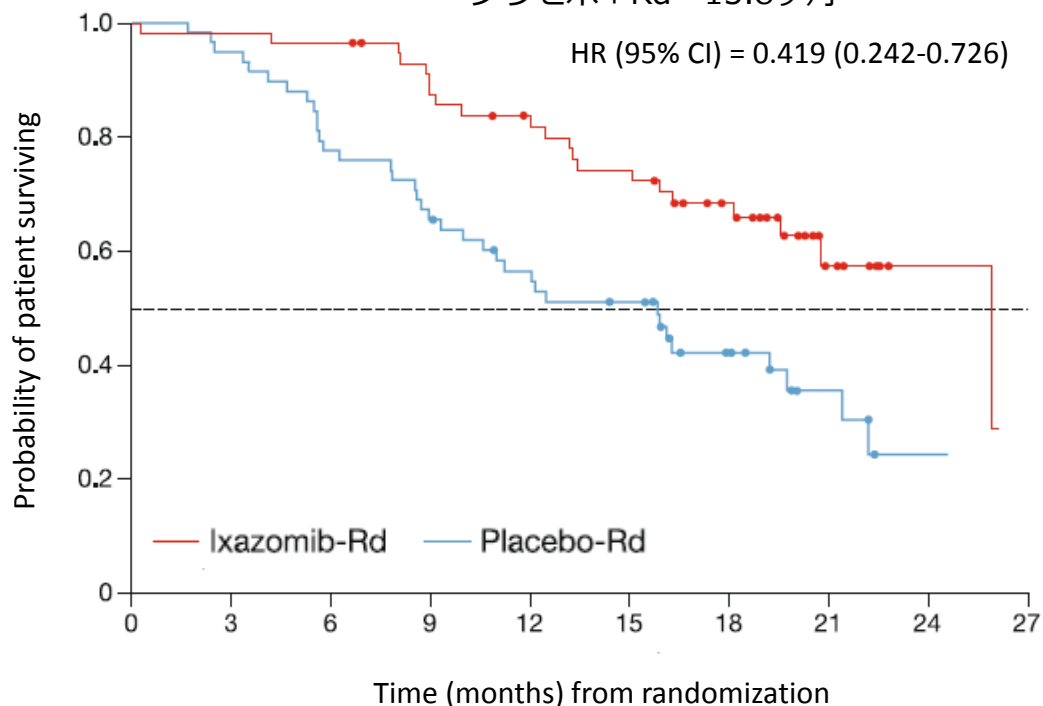
## 米国での成長要因

- 地域の病院を中心に採用が広がる
- 当初の高齢者が中心であった処方、現在は様々な患者層への使用に広がる



# 中国での承認申請用のPh-3試験においてニンラーロと Revlimidの併用で、約10ヶ月の全生存期間改善が示される

全生存期間の中央値:  
 NINLARO+Rd 25.8 ヶ月  
 プラセボ+Rd 15.8ヶ月



## 無作為NRd vs Rd試験:

- 中国当局への承認申請に向けたPh-3試験 (2017年度第4四半期に承認取得の可能性)
- 試験組み入れの患者基準、試験デザイン、評価項目はFDAおよびEMAへの申請時に提出した TOURMALINE-MM1試験とほぼ同じ
- NINLARO+Rd投与群はプラセボ+Rd群と比べ、無増悪生存期間と全生存期間が有意に改善され、追加の毒性の発現は限定的だった。本試験結果は2017年7月に発行された「*Journal of Hematology & Oncology*」に掲載
- CHMPへの報告義務として本試験結果をEMAへ提出、欧州製品概要に結果のサマリーが記載された

## TOURMALINE-MM1全生存期間の解析:

- これまでの報告同様、23ヶ月時点のフォローアップでは両群いずれも全生存期間中央値には達しておらず、試験は継続中
- 全生存期間の中間解析は2018年の予定

NRD: NINLARO+Revlimid + dexamethasone; Rd: Revlimid + dexamethasone

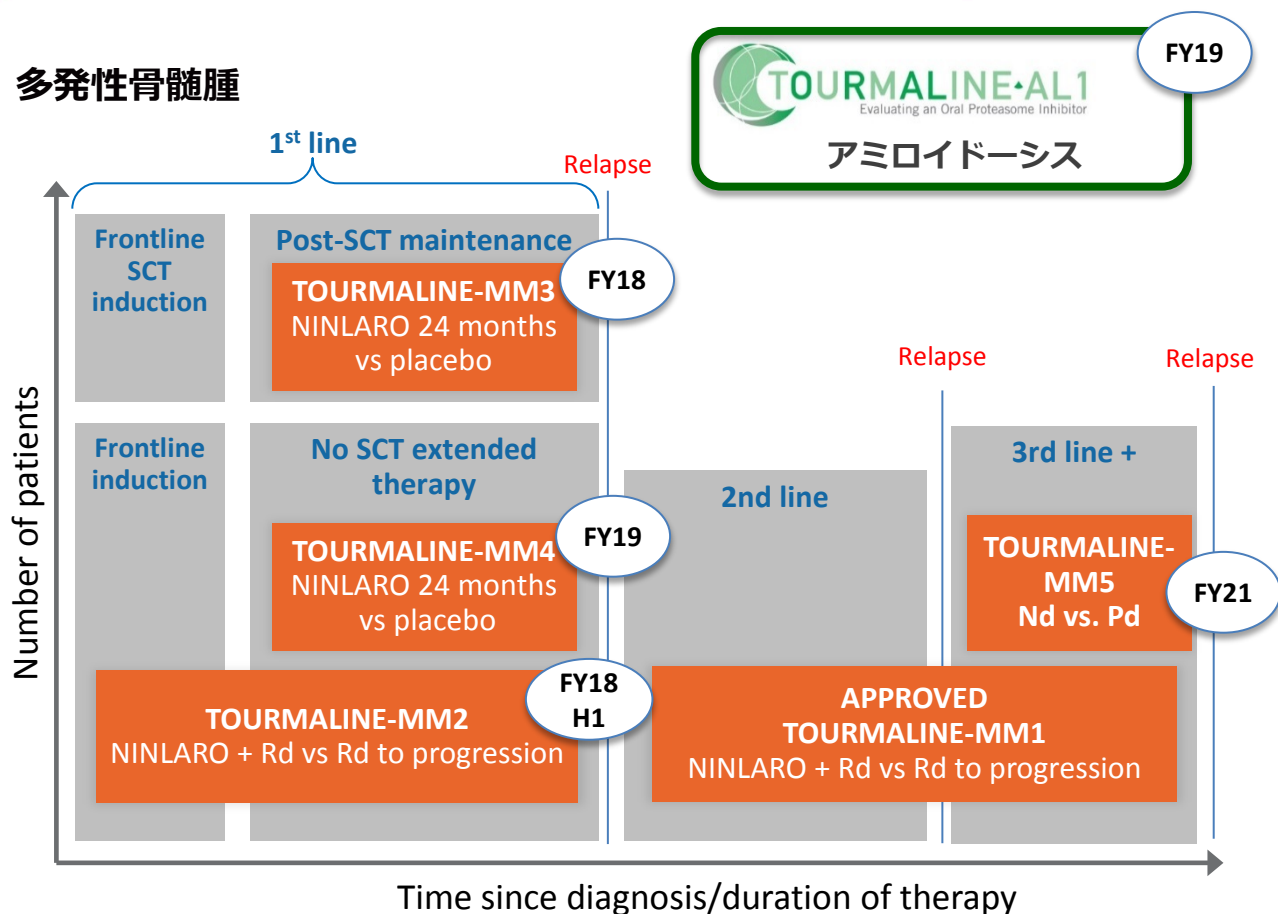
HR: Hazard Ratio; CI: Confidence Interval

Hou, et al. *Journal of Hematology & Oncology* 2017, 10:137



# 2018年度に想定されているピボタル試験の結果では 長期治療の有用性を示す

## 多発性骨髄腫



## 幅広いエビデンスの構築:

- 現在実施中のPh-3試験で多発性骨髄腫の様々な治療範囲をカバー
- 維持療法は重要な機会
  - 導入治療レジメンに依らない革新的な開発プログラム
  - 現時点ではRevlimidだけが維持療法の効果を持つ
- ダラツムマブとの併用による複数の臨床試験
  - 当社主体の再発・難治性の多発性骨髄腫を対象とするPh-2試験を計画中で、最初の患者さんの組み入れは2017年度内に行う予定
  - 10の研究者主導研究により約900名の患者さんを組み入れ、最初のデータは2018年度に得られる見込み



## 想定を上回るARIAD社の買収成果

- 主な統合プロセスは完了
- 研究開発費は完全に吸収
- 統合シナジーは想定以上
- ALUNBRIGおよびICLUSIGの好調な実績



- 2017年5月の米国上市以降、想定通り数百人の患者さんが本剤で治療を開始
- EMAによるDay 120の評価報告書とそれに対する当社の回答提出は計画通りに進捗
- Ph-2試験（crizotinibでの既治療患者さんを対象）のデータが世界肺癌学会（IASLC）で発表され、ベストインクラスのALK阻害剤として位置付けられるためのさらなるエビデンスとして紹介される（無増悪生存期間の中央値:16.7ヶ月<sup>1</sup>）
- ALTA-1L試験の患者さん組み入れは計画よりも半年早く完了。本試験はPh-1/2試験（症例数8）の 無増悪生存期間（34.2ヶ月）の結果をベースにデザインされている



- 慢性骨髄性白血病とフィラデルフィア染色体陽性の急性リンパ性白血病の患者さんに対し、強い効果をもたらす
- 当社の血液がん領域のセールスフォースがニンラー口とともに幅広い活動を実施する利点
- 当社による買収後、用量漸増試験（OPTIC試験）の患者さん組み入れが倍増



## 中期的な優先事項 : Rebuild Pipeline

**Grow  
Portfolio**

**Rebuild  
Pipeline**

**Boost  
Profitability**

### 中期的な優先事項

- 疾患領域の専門性を活かした革新的研究開発課題の推進
- 社内での育成と外部との提携を通じた研究開発力の強化
- 研究開発組織におけるパフォーマンスの向上とカルチャー醸成

# 2017年度第1四半期決算発表以降の 革新的な開発課題の進展



	臨床第1相試験	臨床第2相試験	臨床第3相試験 / 申請中	ライフサイクル・マネジメント (LCM)
<b>オンコロジー (がん)</b>	<p><b>TAK-202</b> CCR2 antagonist Solid Tumors</p> <p><b>TAK-788 (AP32788)</b> EGFR/HER2 inh NSCLC</p> <p><b>TAK-931</b> CDC7 inhibitor Solid Tumors</p> <p><b>TAK-573</b> → Teva Anti-CD38-antennukine Refractory Multiple Myeloma</p>	<p><b>TAK-243</b> UAE inhibitor Solid Tumors</p> <p><b>TAK-580</b> pan-RAF kinase Solid Tumors</p> <p><b>XMT-1522</b> Mersana Therapeutics HER2 dolaflexin ADC HER2 positive solid tumors</p> <p><b>TAK-659</b> → SYK inhibitor Hem malignancies, <b>CLL/CLL</b></p>	<p><b>pevonedistat</b> NAE inhibitor HR MDS</p> <p><b>sapanisertib (TAK-228)</b> mTORC 1/2 inhibitor RCC, Breast, Endometrial</p>	<p><b>NINLARO</b> → Proteasome inhibitor MM R/R (EM), R/R AL Amyloidosis, Front Line MM, <b>R/R Myeloma doublet regimen</b>, Maintenance MM post-SCT Maintenance MM w/o SCT</p> <p><b>ADCETRIS</b> → Seattle Genetics CD30 ADC FL HL, FL MTCL, Relapsed CTCL</p> <p><b>ALUNBRIG (Brigatinib)</b> ALK inhibitor ALK+NSCLC (EU), FL ALK+ NSCLC</p> <p><b>ICLUSIG</b> → BCR-ABL inhibitor Imatinib resistant Chronic Phase CML Second-Line Chronic Phase CML, Ph+ ALL</p> <p><b>Cabozantinib</b> Exelixis VEGFR/RTK inhibitor Solid Tumors (JP)</p>
<b>消化器系疾患</b>	<p><b>TAK-954</b> Theravance Biopharma 5-HT4R ag Enteral Feeding Intolerance</p>	<p><b>TAK-906</b> → D2/D3 Receptor Antagonist Gastroparesis</p>	<p><b>CX601</b> TiGenix mesenchymal stem cells Perianal Fistulas in CD (EU)</p>	<p><b>ENTYVIO</b> → α4β7 mAb UC/CD (EM), <b>UC (JP)</b>, CD (JP), adalimumab H2H Sub-Q UC, Sub-Q CD, GvHD Prophylaxis, GvHD SR, IO Colitis</p> <p><b>Vonoprazan</b> PCAB ARD (Asia), NERD (JP) PPI Partial Responder</p> <p><b>AMITIZA</b> → Sucampo Chloride channel activator <b>Pediatric constipation</b> New formulation</p>
<b>中枢神経疾患</b>	<p><b>TAK-041</b> GPR139 agonist CIAS neg. symptoms</p> <p><b>TAK-071</b> M1PAM LBD-AD</p> <p><b>TAK-831</b> DAAO inhibitor Schizophrenia, Ataxia</p> <p><b>TAK-418</b> → undisclosed Rare diseases</p>	<p><b>TAK-058</b> 5-HT3 antagonist CIAS</p> <p><b>TAK-653</b> AMPA potentiator TRD</p> <p><b>TAK-935</b> → Ovid Therapeutics CH24H inhibitor Rare pediatric epilepsies</p>	<p><b>AD-4833 TOMM40</b> Zinfandel Pharmaceutical Mitochondrial growth modulator Delay of MCI</p>	<p><b>TRINTELLIX™</b> Lundbeck Multimodal anti-depressant Cognition data in label (CRL received) MDD (JP), <b>ADHD</b></p> <p><b>Rasagiline</b> Teva MAOB inhibitor Parkinson's (JP)</p>
<b>ワクチン</b>	<p><b>TAK-021</b> EV71 Vaccine</p> <p><b>TAK-195</b> Gates Foundation Inactivated Polio Vaccine</p>	<p><b>TAK-214</b> Norovirus Vaccine</p>	<p><b>TAK-003</b> Dengue Vaccine</p>	
<b>その他</b>	<p><b>TAK-079</b> Anti-CD38 mAb SLE</p>	<p><b>TAK-020</b> BTK inhibitor RA</p>	<p><b>namilumab</b> Amgen GM-CSF RA</p> <p><b>TAK-272</b> SCOHIA Pharma Direct renin inhibitor Diabetic Nephropathy</p>	<p><b>relugolix</b> Myovant GNRH antagonist Uterine Fibroids (JP), Endometriosis, Prostate Cancer (JP)</p>

→ 2017年7月28日以降のステージアップ  
(最初の被験者登録・申請・承認)

赤字：開発中止

略語については49ページをご参照下さい。



# 開発初期パイプラインへの多大な投資と 既発売製品の価値最大化



	臨床第1相試験		臨床第2相試験	臨床第3相試験／申請中	ライフサイクル・マネジメント (LCM)	
<b>オンコロジー (がん)</b>	<b>TAK-202</b> CCR2 antagonist Solid Tumors	<b>TAK-243</b> UAE inhibitor Solid Tumors	<b>pevonedistat</b> NAE inhibitor HR MDS		<b>NINLARO®</b> Proteasome inhibitor MM R/R (EM), R/R AL Amyloidosis, Front Line MM, R/R Myeloma doublet regimen, Maintenance MM post-SCT Maintenance MM w/o SCT	<b>ADCETRIS®</b> Seattle Genetics CD30 ADC FL HL, FL MTCL, Relapsed CTCL
	<b>TAK-931</b> CDC7 inhibitor Solid Tumors	<b>TAK-580</b> pan-RAF kinase Solid Tumors	<b>sapanisertib</b> (TAK-228) mTORC 1/2 inhibitor RCC, Breast, Endometrial		<b>ALUNBRIG® (Brigatinib)</b> ALK inhibitor ALK+NSCLC (EU), FL ALK+ NSCLC	<b>ICLUSIG®</b> BCR-ABL inhibitor Imatinib resistant Chronic Phase CML Second-Line Chronic Phase CML, Ph+ ALL
	<b>TAK-573</b> Teva Anti-CD38-antennukine Refractory Multiple Myeloma	<b>TAK-788 (AP32788)</b> EGFR/HER2 inh NSCLC	<b>TAK-659</b> SYK inhibitor Hem malignancies, DLBCL		<b>Cabozantinib</b> Exelixis VEGFR/RTK inhibitor Solid Tumors (JP)	
	<b>XMT-1522</b> Mersana Therapeutics HER2 dolaflexin ADC HER2 positive solid tumors					
<b>消化器系疾患</b>	<b>TAK-954</b> Theravance Biopharma 5-HT4R ag Enteral Feeding Intolerance		<b>TAK-906</b> D2/D3 Receptor Antagonist Gastroparesis	<b>CX601</b> TiGenix mesenchymal stem cells Perianal Fistulas in CD (EU)	<b>ENTYVIO®</b> α4β7 mAb UC/CD (EM), UC (JP), CD (JP), adalimumab H2H Sub-Q UC, Sub-Q CD, GvHD Prophylaxis, GvHD SR, IO Colitis	<b>Vonoprazan</b> PCAB ARD (Asia), NERD (JP) PPI Partial Responder
					<b>AMITIZA®</b> Sucampo Chloride channel activator Pediatric constipation New formulation	
<b>中枢神経疾患</b>	<b>TAK-041</b> GPR139 agonist CIAS neg. symptoms	<b>TAK-058</b> 5-HT3 antagonist CIAS	<b>TAK-935</b> Ovid Therapeutics CH24H inhibitor Rare pediatric epilepsies	<b>AD-4833 TOMM40</b> Zinfandel Pharmaceutical Mitochondrial growth modulator Delay of MCI	<b>TRINTELLIX™</b> Lundbeck Multimodal anti-depressant Cognition data in label (CRL received) MDD (JP)	<b>Rasagiline</b> Teva MAOB inhibitor Parkinson's (JP)
	<b>TAK-071</b> M1PAM LBD-AD	<b>TAK-653</b> AMPA potentiator TRD				
	<b>TAK-418</b> undisclosed Rare diseases	<b>TAK-831</b> DAAO inhibitor Schizophrenia, Ataxia				
<b>ワクチン</b>	<b>TAK-021</b> EV71 Vaccine	<b>TAK-195</b> Gates Foundation Inactivated Polio Vaccine	<b>TAK-214</b> Norovirus Vaccine	<b>TAK-003</b> Dengue Vaccine		
<b>その他</b>	<b>TAK-079</b> Anti-CD38 mAb SLE	<b>TAK-020</b> BTK inhibitor RA	<b>namilumab</b> Amgen GM-CSF RA	<b>relugolix</b> Myovant GNRH antagonist Uterine Fibroids (JP), Endometriosis, Prostate Cancer (JP)		
			<b>TAK-272</b> SCOHIA Pharma Direct renin inhibitor Diabetic Nephropathy			



# 既発売製品の効能追加はR&D組織の優先事項

	新たな適応症における 初期段階の安全性・認容性の試験	新たな適応症における ブルーフ・オブ・コンセプト試験	新規効能の取得または添付文書の変更を狙う 後期段階の試験	申請中
オンコロジー (がん)	<p>ALUNBRIG® ROS1+ NSCLC</p> <p>Cabozantinib Solid Tumors (JP)</p>	<p>ICLUSIG® Second-Line Chronic Ph CML</p> <p>ICLUSIG® Philadelphia + ALL</p>	<p>NINLARO® Front Line MM</p> <p>NINLARO® Maintenance MM post-SCT</p> <p>NINLARO® Maintenance MM without SCT</p> <p>NINLARO® R/R AL Amyloidosis</p> <p>NINLARO® R/R Myeloma doublet regimen</p> <p>ADCETRIS® Front Line Hodgkin Lymphoma</p> <p>ADCETRIS® Front Line MTCL</p> <p>ALUNBRIG® Front Line ALK+ NSCLC</p> <p>ICLUSIG® Imatinib resistant Chronic Ph CML</p>	<p>NINLARO® R/R MM (Emerging Markets)</p> <p>ADCETRIS® Relapsed CTCL</p> <p>ALUNBRIG® ALK+NSCLC (EU)</p>
消化器系疾患	<p>ENTYVIO® GvHD Prophylaxis</p> <p>ENTYVIO® IO Colitis</p>	<p>ENTYVIO® GvHD Steroid Refractory</p> <p>Vonoprazan PPI Partial Responder</p>	<p>ENTYVIO® CD (JP)</p> <p>ENTYVIO® Adalimumab H2H</p> <p>ENTYVIO® SubQ UC</p> <p>ENTYVIO® SubQ CD</p> <p>Vonoprazan NERD</p> <p>Vonoprazan ARD (Asia)</p> <p>AMITIZA® New Formulation</p>	<p>ENTYVIO® UC/CD (Emerging Markets)</p> <p>ENTYVIO® UC (JP)</p> <p>AMITIZA® Pediatric Constipation</p>
中枢神経疾患			<p>TRINTELLIX™ MDD (JP)</p>	<p>TRINTELLIX™ Cognition (CRL received)</p> <p>Rasagiline Parkinson's (JP)</p>
ワクチン				
その他				



# 提携や外部イノベーション取り込みによるパイプライン強化 2017年度の新たな提携

	研究	初期段階の開発	後期段階 / LCM
オンコロジー (がん)	Heidelberg PHARMA GAMMADELTA THERAPEUTICS SCHROEDINGER. NEKTAR Numerate tem SELEXIS® NOILE-IMMUNE BIOTECH SHATTUCK LABS Stanford University		TESARO® niraparib (Jpn, select EM)
消化器系疾患	HEMOSHEAR THERAPEUTICS NUBIYOTA SGC SCHROEDINGER. Harrington Discovery Institute Numerate isogenica Karolinska Institutet BioSurfaces® RECURSION Stanford University		
中枢神経疾患	AstraZeneca MEDI1341 SCHROEDINGER. PRANA BIOTECHNOLOGY Numerate Stanford University RECURSION Harrington Discovery Institute		
ワクチン			BE Biological E. Limited Celebrating Life Every Day
外部の バリュー クリエーション	CARDURION PHARMA Chordia Therapeutics SAMSUNG BIOEPIS TAK-671		
ストラテジー & オペレーションズ	AXCELEAD Drug Discovery Partners	SEEDSUPPLY	ChromaJean

2017年11月1日時点



# 2017年度の重要な研究開発マイルストーン

疾患領域	開発品	予定されるイベント	
オンコロジー (がん)	Ninlaro	初発の多発性骨髄腫 無増悪生存期間 (PFS) データ解析結果 (H2) 再発・難治性の多発性骨髄腫 全生存期間 (OS) データ解析結果(H2)	FY2018 H1
	Adcetris	再発性皮膚T細胞性リンパ腫 欧州申請 (H1) 再発性皮膚T細胞性リンパ腫 欧州承認 (H2) <b>【新規掲載】</b> ホジキンリンパ腫 (フロントライン適応) ピボタルP-3試験結果 (ECHELON-1) (2017暦年内)	
	Alunbrig	非小細胞肺がん 米国承認 (H1)	
	Pevonedistat	高リスク骨髄異形成症候群/慢性骨髄単球性白血病/低ブラスト急性骨髄性白血病Ph-2 中間解析結果 (H1) 高リスク骨髄異形成症候群/慢性骨髄単球性白血病/低ブラスト急性骨髄性白血病ピボタル Ph-3試験開始 (H2)	
	Entyvio	潰瘍性大腸炎 日本Ph-3試験の結果判明 (H2)	
消化器系疾患	Cx-601	クローン病に伴う肛門複雑瘻孔 欧州承認 (2017暦年内)	FY2017 H2
	TAK-954	経腸栄養不耐性 Ph-2b試験開始 (H2)	
	Trintellix	認知機能のラベルについてFDAとの対話を継続	2017年6月 CRL受領
中枢神経系疾患	Rasagiline	パーキンソン病 日本申請 (H1)	
	ワクチン	TAK-003	デングウイルスワクチン Ph-3「TIDES試験」の被験者組み入れ完了 (H1)
TAK-214		ノロウイルスワクチン 成人を対象としたPh- 2b試験の結果判明 (H2)	ノロウイルス発生率 が想定より低い
TAK-426		ジカ熱ワクチンのPh-1開始 (H2)	

表中の研究開発マイルストーンは一部であり、包括的なものではありません。タイムラインは現在想定しているものであり、変更の可能性があります。



## 中期的な優先事項 : Boost Profitability

**Grow  
Portfolio**

**Rebuild  
Pipeline**

**Boost  
Profitability**

### 中期的な優先事項

- 実質的なCore Earningsの売上収益比率を年100-200bps向上
- Global Opex Initiative（グローバル経費削減イニシアチブ）の推進
- 遊休資産の現金化と収益力の向上をともなう成長への投資



## 増収増益、EPSは2桁台成長の力強い上期実績

- **EPS（財務ベース）は+39.2%**
  - 売上収益は+3.6%の増収、成長ドライバーと為替影響（+2.4pp）が事業等の売却影響（△5.5pp）を吸収
  - 力強い実質的な成長により営業利益は+44.6%の増益、一時的な収益の1,368億円を含む
- **力強い実質的な成長によりCore EPSは+29.9%**
  - 実質的な売上収益の成長は+6.7%、成長ドライバーの+14.9%が牽引
  - 実質的なCore Earningsは+44.4%、対売上収益比率は+500bps、ただし、年間を通しての基調を表すものではない
  - 税率上昇（14.1%から20.7%）が実質的なCore EPSの成長を抑制
- **営業フリー・キャッシュ・フローは+12.4%の846億円、ノン・コア資産の売却により、さらに1,308億円のキャッシュを創出**



# 財務ベースのEPSは力強いCore Earningsの増益を反映し 39.2%伸長

## 2017年度上期 損益計算書（財務ベース）

(億円)	<u>2016年度</u> 上期	<u>2017年度</u> 上期	<u>対前年同期</u>	
売上収益	8,508	8,814	+306	+3.6%
Core Earnings	1,310	1,871	+560	+42.8%
営業利益	1,621	2,343	+723	+44.6%
当期利益	1,243	1,728	+485	+39.0%
EPS	159円	221円	+62円	+39.2%
ROE	6.6%	8.7%		+2.1pp
円/ドル	108円	111円	+4円	+3.3%
円/ユーロ	121円	126円	+5円	+4.2%



# 実質的なCore Earningsは力強い売上収益と利益率の向上を反映し44.4%増益; 年間を通しての基調を表すものではない

## 2017年度上期 損益計算書 (実質ベース)

(億円)	<u>2016年度</u> <u>上期</u>	<u>2017年度</u> <u>上期</u>	<u>対前年同期</u>	
売上収益	7,968	8,503	+535	+6.7%
売上総利益	5,513	6,114	+601	+10.9%
対売上収益比率	69.2%	71.9%		+2.7pp
営業経費	△4,387	△4,488	△101	△2.3%
対売上収益比率	55.1%	52.8%		+2.3pp
Core Earnings	1,126	1,625	+500	+44.4%
対売上収益比率	14.1%	19.1%		+5.0pp
Core当期利益	989	1,285	+296	+29.9%
Core EPS	127円	165円	+38円	+29.9%





# 営業フリー・キャッシュ・フローは12.4%増加

## 2017年度上期 キャッシュフロー計算書

(億円)	2016年度 上期	2017年度 上期	対前年同期	
当期利益	1,256	1,727	+471	+37.5%
減価償却費、償却費及び減損損失	1,063	842	△221	
運転資本増減（△は増加）	△ 282	△ 456	△174	
法人税等の支払額	△ 47	△ 39	+8	
その他*	△ 873	△ 566	+307	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,118</b>	<b>1,508</b>	<b>+390</b>	<b>+34.9%</b>
有形固定資産の取得と売却**	△ 267	△ 360	△93	
無形資産の取得***	△ 99	△ 303	△203	
<b>営業フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>752</b>	<b>846</b>	<b>+94</b>	<b>+12.4%</b>

- ノン・コア資産の売却により、さらに1,308億円のキャッシュを創出
- 純有利子負債/EBITDA倍率は2016年度末の2.7倍から2.0倍に低下

2017年度上期の営業フリー・キャッシュ・フローの調整：

\*新興国の事業開発案件にかかるエスクロー口座からの支払いに伴い発生した162億円の収入を除いています（投資活動CFの同額の支出も除いています）。

\*\*不動産の売却収入319億円を除いています。\*\*\*将来ロイヤリティ支払いにかかる権利を買い戻した166億円の支払いを除いています。



# グローバル経費削減イニシアチブのアップデート



- 上期の削減額は104億円  
(対前年同期+26%)
- 11のコストパッケージについて、年末までに価格管理の施策を導入

- 方針（ポリシー）を  
全社展開中
- 主なエリアにおいて  
消費行動の変化を確認
- コストパッケージの  
ゼロベース予算策定を  
準備中

- 主な一般管理機能のベンチマークを完了
- 1~2のクォータイル・ギャップを確認、ギャップを埋める施策を検討中



# グローバル経費削減イニシアチブのスポットライト コンサルタントおよび臨時従業員（スコープの20%）

## Findings:



- 製薬業界内で3位のクォータイル
- 1,400以上のコンサルタントを利用
- 戦略的コンサルタントをオペレーション業務に利用
- 臨時従業員コストの45%以上は米国で発生
- 臨時従業員の平均契約期間は20ヶ月以上

## Key Achievements:



- 新しい方針と目標を策定
- プロキュアメント・チームの早期からの関与、コンサルタント・ポートフォリオの戦略的レビュー
- コンサルタントのコア・コンピテンシーに基づく適性な業務へのマッチング
- 人材派遣の運用管理代行業者の統一化に向けた作業を開始
- Pay for personからPay for jobの料金モデルを導入

**GOAL :** 18ヶ月のうちに1位のクォータイル（上位4分の1層）に



# 実質的なEarningsのガイダンスを上方修正； 実質的なCEの対売上収益比率は200bps近い向上を見込む

	2017年度マネジメントガイダンス（成長率 %）	
	前回公表ガイダンス 2017年5月10日	今回公表ガイダンス 2017年11月1日
実質的な売上収益	1桁台前半	1桁台前半
実質的なCore Earnings	10%台半ばから後半	10%台後半
実質的なCore EPS	10%台前半から半ば	10%台半ば
1株当たり年間配当金	180円	180円



# 上期実績を踏まえて年間の利益予想を引き上げ

## 2017年度今回公表予想（財務ベース）対 前回公表予想

(億円)	前回公表予想	今回公表予想	増減		
	2017年5月10日	2017年11月1日			
売上収益	16,800	17,200	+400	+2.4%	• 為替影響 +250
研究開発費	△3,100	△3,150	△50	△1.6%	• 為替影響 △50
Core Earnings	2,575	2,675	+100	+3.9%	• 上期の好調な業績を反映
無形資産償却費および減損損失	△1,525	△1,475	+50	+3.3%	• 減損損失の減少 +100、為替影響 △50
その他の営業収益／費用*	750	800	+50	+6.7%	• 事業構造再編費用の減少 +110、 コルクリスにかかる条件付対価 △60
営業利益	1,800	2,000	+200	+11.1%	
税引前当期利益	1,900	2,100	+200	+10.5%	
当期利益	1,380	1,520	+140	+10.1%	• 税率27%（変動なし）
EPS	177 円	195 円	+18 円	+10.1%	
円/ドル	110 円	112 円	+2 円	+1.6%	
円/ユーロ	120 円	129 円	+9 円	+7.7%	

\* 非定常項目を含む



# 2017年度の財務ベースEPSは32%伸長の195円

## 2017年度今回公表予想（財務ベース）対 2016年度実績

(億円)	2016年度 実績	2017年度 今回公表予想	増減	
売上収益	17,321	17,200	△121	△0.7%
研究開発費	△3,123	△3,150	△27	△0.9%
<b>Core Earnings</b>	<b>2,451</b>	<b>2,675</b>	<b>+224</b>	<b>+9.1%</b>
無形資産償却費および減損損失	△1,567	△1,475	+92	+5.9%
その他の営業収益／費用*	675	800	+125	+18.6%
<b>営業利益</b>	<b>1,559</b>	<b>2,000</b>	<b>+441</b>	<b>+28.3%</b>
税引前当期利益	1,433	2,100	+667	+46.5%
<b>当期利益</b>	<b>1,149</b>	<b>1,520</b>	<b>+371</b>	<b>+32.2%</b>
<b>EPS</b>	<b>147 円</b>	<b>195 円</b>	<b>+48 円</b>	<b>+32.3%</b>
円/ドル	109 円	112 円	+3 円	+2.6%
円/ユーロ	120 円	129 円	+10 円	+8.1%

### 2017年度公表予想の修正前提条件（億円）

#### 製品等に係る無形資産償却費および減損損失

- 無形資産償却費 △1,250
- 減損損失 △225

#### その他の営業収益／費用

- 和光純薬の株式売却益 1,063
- 不動産売却益 160
- 長期収載品の事業譲渡益 60
- グローバル経費削減イニシアチブ／その他 △230
- 研究開発体制の変革にかかる導入費用\* △140  
\*合計の予算額は△540億円に
- アリアド社にかかる一時費用 △50
- コルクリスにかかる条件付対価 △60

#### 金融収益

- 投資有価証券の売却益 300

\* 非定常項目を含む



# 上期にすべての一時的な収益を計上； 下期は大きな費用の発生とベルケイドの影響を受ける

## • 上期にすべての一時的な収益を計上

- テバ社との合併会社への追加的な長期収載品の売却
- 和光純薬株式の売却
- 不動産の売却

(億円)

上期	下期
1,368	なし

## • 下期に大きな一時的費用の発生を見込む

- グローバル経費削減イニシアチブと研究開発体制の変革にかかる費用が集中
- 製品等にかかる減損損失の予算額が繰り越し

上期	下期
△44	△601

## • 上期の増益効果が下期に解消

- 米国における一時的な高い在庫レベル
- 営業経費の期ずれ

上期	下期
+80~120	△80~120

## • 下期の利益水準は上期より低い傾向

- さらに米国ベルケイドの独占期間が満了
- 下期の営業経費は例年上期より増加

ベルケイド売上収益 (実質ベース)

上期	下期
713 (+4 対前年同期)	約350 (△330 対前年同期)



# 独占期間満了後のベルケイド侵食スピードは複合的要因による

## ベルケイドに与える影響はボルテゾミブ含有製剤の市場参入時期とその数、代替可能性による

- **ベルケイドの堅調な上期売上実績（713億円）**
- **20のボルテゾミブ含有製剤が申請済み（マンニトール不使用の3つの505(b)(2)申請を含む）**
- **米国食品医薬品局（FDA）に対する市民請願**
  - ベルケイド添付文書上の特定情報に対するFDAの見解によっては、本剤の追加効能にかかる独占期間満了の2018年2月まで、ボルテゾミブ含有製剤の市場参入が遅れる可能性あり
  - Fresenius Kabiのマンニトール不使用製品の安全性・有効性について問題提起
- **Sandoz被告団以外の被告との訴訟が係争中**
  - 9社はSandoz被告団の控訴審判決に拘束される（Sandoz被告団の再審理の申し立ては棄却された）
  - その他の被告との訴訟は引き続き地裁で継続する

## ベルケイドの売上予測

- 2017年度は約1,060億円（2017年11月から2～3の参入を前提）  
追加的な売上機会は300億円までの見通し（ビジネスに一部を再投資）
- 2018年度は約240億円、潜在的アップサイドも





## 変革の推進により収益力が向上した上期実績

- **優先事項の着実な進捗**

- Grow Portfolio (事業ポートフォリオの成長)
- Rebuild Pipeline (研究開発パイプラインの再構築)
- Boost Profitability (利益率の向上)

- **売上と利益の力強い成長**

- 実質的な売上収益 +6.7%
- 実質的なCore Earnings +44.4%

- **2桁台のEPS成長**

- 実質的なCore EPS +29.9%
- EPS (財務ベース) +39.2%

- **下期は逆風も年間見通しを上方修正**



# Appendix



# Coreと「実質的な成長」の定義

## Coreの概念

**Core Earnings**は、売上総利益から、販売費及び一般管理費、および、研究開発費を控除して算出します。さらに、non-coreの性質で金額の大きい影響を調整します。ここには、自然災害の影響、企業買収に係る会計処理の影響、主な訴訟費用、事業構造再編費用、政府による法令変更の影響などが含まれます。説明責任及び信頼性を保証するため、これらを控除する際の金額基準は「10億円以上」と高く設定しています。

**Core EPS**の算出にあたっては、Core Earningsから、営業利益以下の各科目のうち、non-coreの性質で金額の大きい影響（10億円以上）を調整します。ここには、条件付対価に係る公正価値変動影響などが含まれます。さらに、これらにかかる税金影響に加え、上記のCore Earnings調整にかかる税金影響を合わせて調整します。

## 実質的な成長

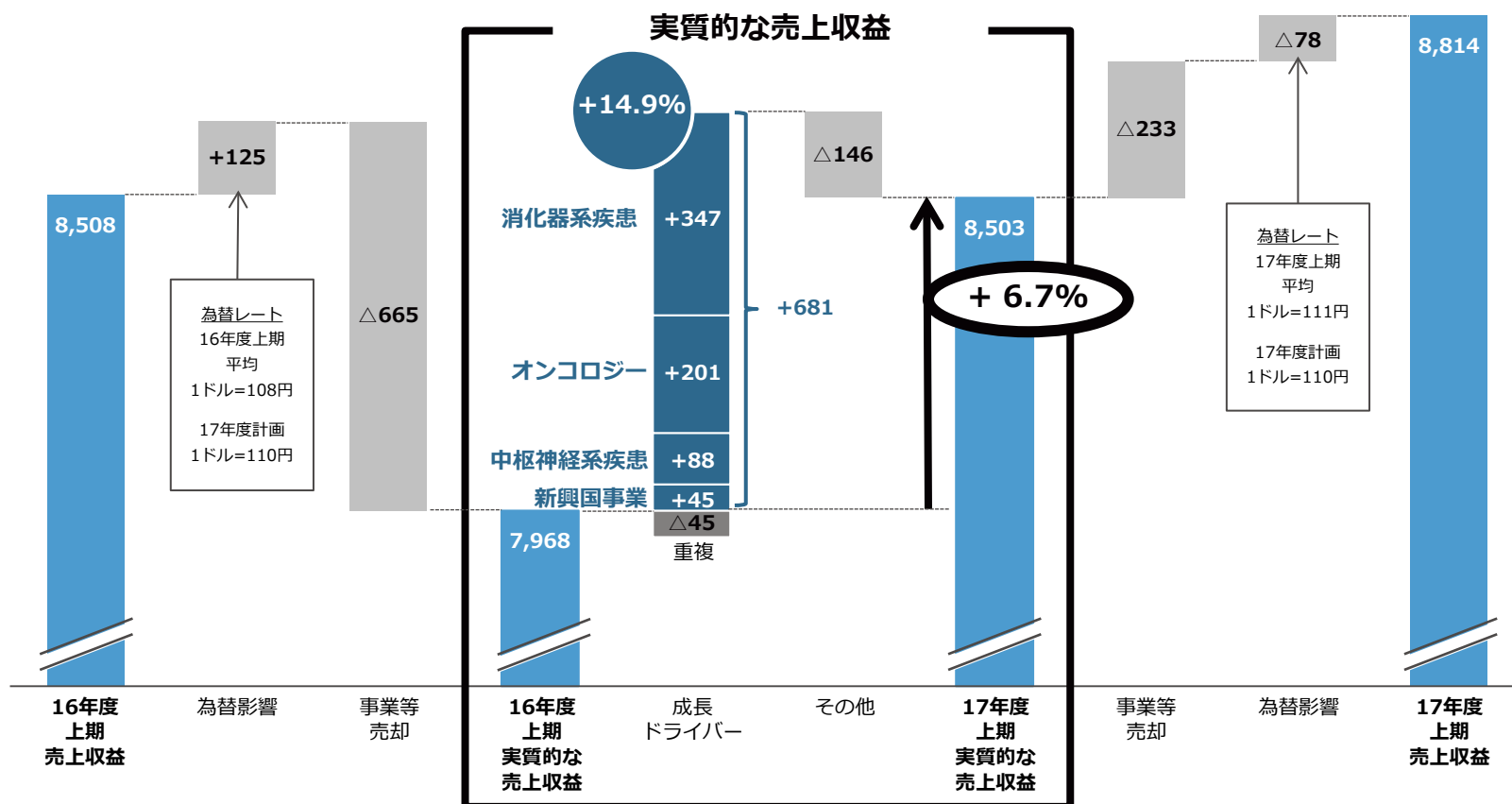
実質的な成長とは、持続的な事業活動のパフォーマンスを実質的に把握する目的で、当期と前年同期（四半期あるいは年間）の業績を共通の基準で比較するものです。このため、各期間を共通の為替レートで換算し、また、事業等の売却影響を調整します。

**共通の為替レート**：グローバルに事業を展開している当社の業績は、様々な通貨の為替レート変動による影響を受けます。従って、異なる期間の業績比較は、換算に使用する為替レートの違いにより歪みが生じることがあります。このため、為替変動による影響を排除して業績の比較を容易にし、実質的な成長を把握するため、共通の為替レート（CER: Constant Exchange Rates）を異なる期間それぞれに適用します。これには通常、当期の計画レートを使用します。



# 実質的な売上収益は成長ドライバーが牽引し+6.7%の成長

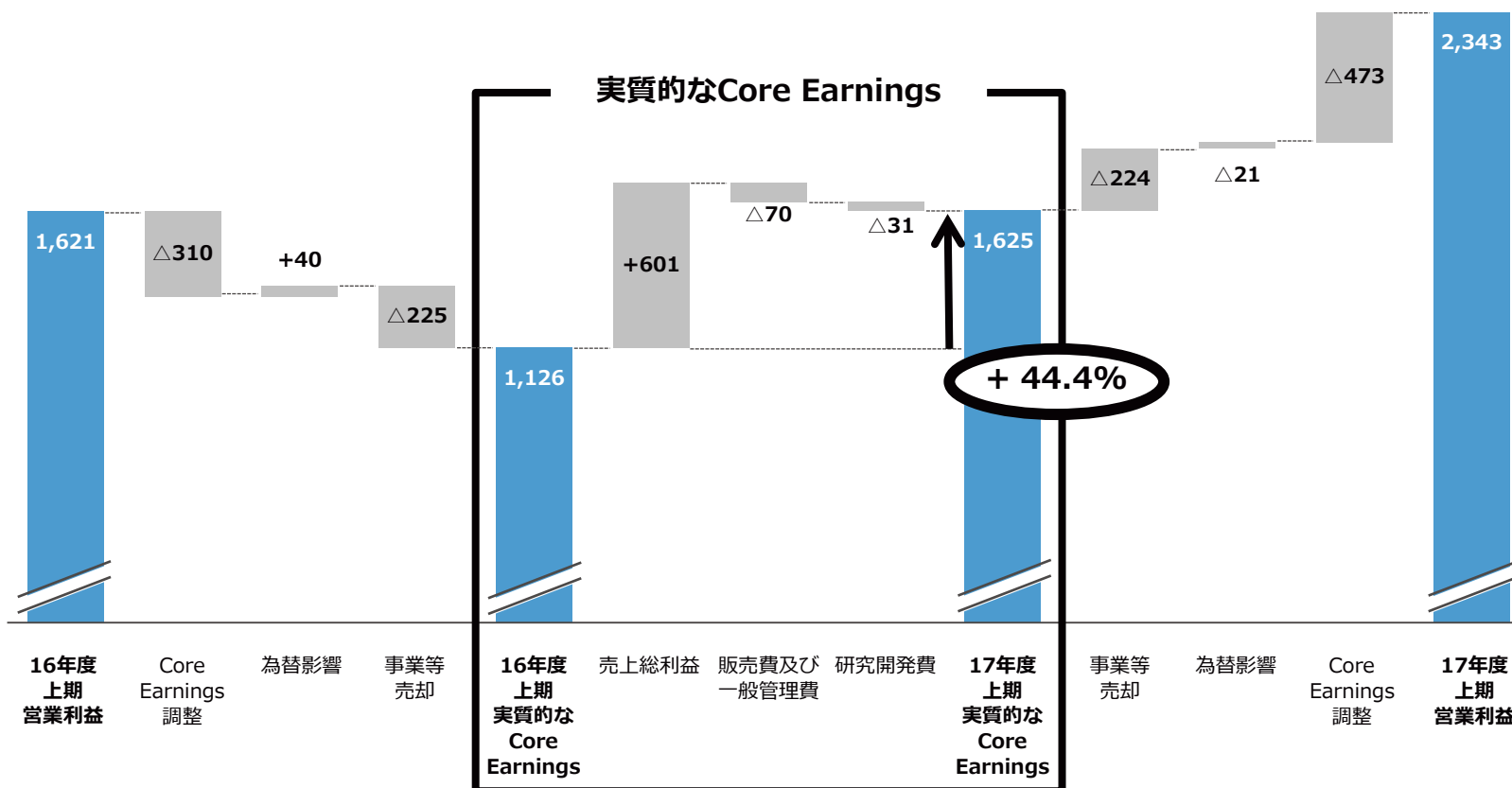
(億円)





# 実質的なCore Earningsは+44.4%の増益 量ベースの伸びと製品構成が貢献

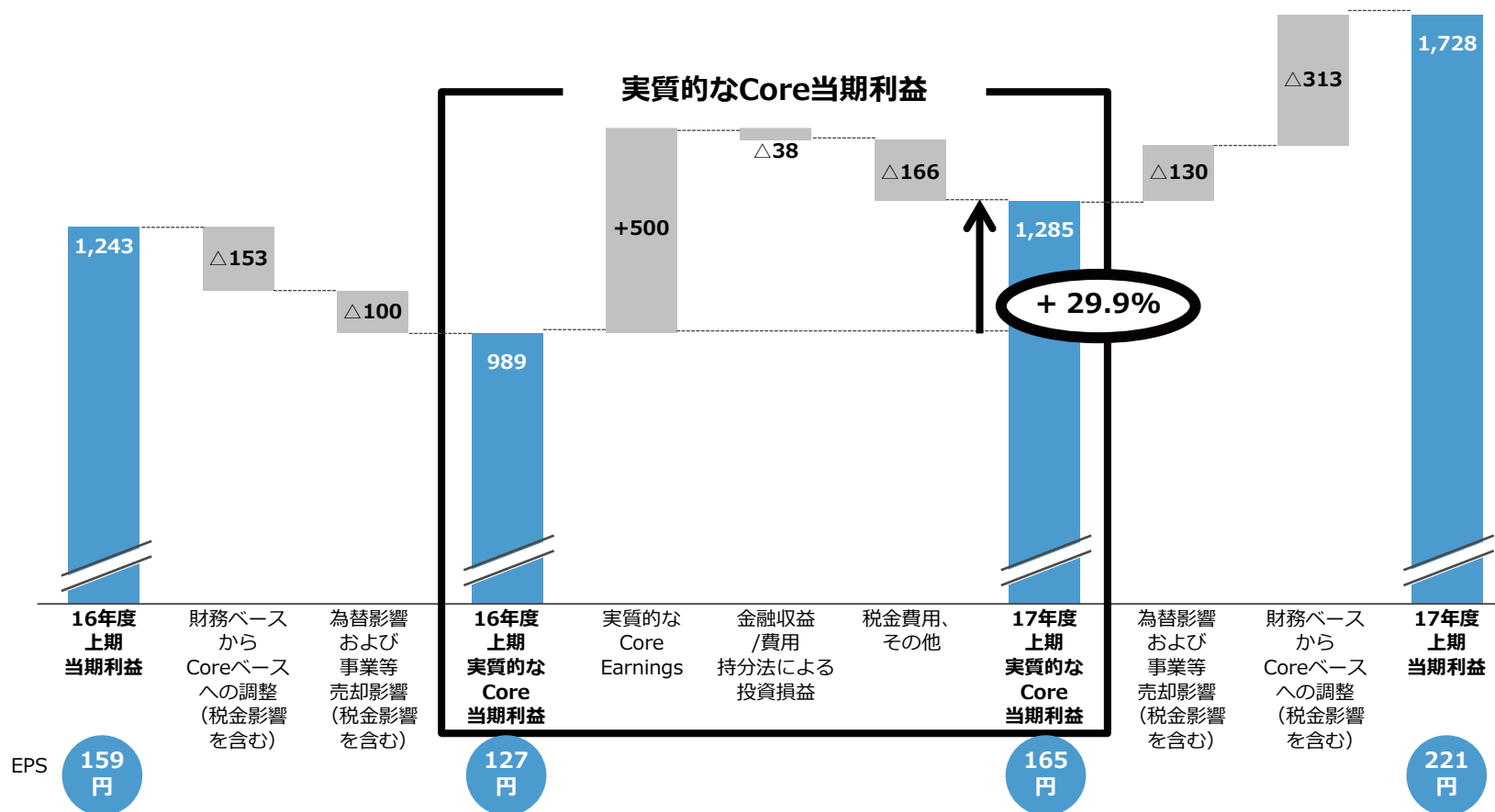
(億円)





# 実質的なCore当期利益とEPSは+29.9%の伸長 Core Earnings の増益が貢献

(億円)





# 損益計算書（財務ベース）2017年度上期

(億円)	2016年度 上期	2017年度 上期	対前年同期	
売上収益	8,508	8,814	+306	+ 3.6%
売上総利益	5,739	6,387	+647	+ 11.3%
対売上収益比率	67.5%	72.5%		+5.0pp
販売費及び一般管理費	△2,909	△2,973	△63	△ 2.2%
研究開発費	△1,520	△1,551	△31	△ 2.1%
非定常項目	-	8		
<b>Core Earnings</b>	<b>1,310</b>	<b>1,871</b>	<b>+560</b>	<b>+ 42.8%</b>
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△757	△569	+188	+ 24.8%
その他の営業収益/費用	1,067	1,049	△18	△ 1.7%
非定常項目（振り戻し）	-	△8		
<b>営業利益</b>	<b>1,621</b>	<b>2,343</b>	<b>+723</b>	<b>+ 44.6%</b>
対売上収益比率	19.0%	26.6%		+7.5pp
金融収益/費用	△62	△19	+43	+ 69.9%
持分法による投資損益	△9	5	+14	NA
<b>税引前当期利益</b>	<b>1,550</b>	<b>2,330</b>	<b>+780</b>	<b>+ 50.3%</b>
法人所得税費用	△294	△603	△309	NA
非支配持分	△13	1	+15	NA
<b>当期利益</b>	<b>1,243</b>	<b>1,728</b>	<b>+485</b>	<b>+ 39.0%</b>
<b>EPS</b>	<b>159 円</b>	<b>221 円</b>	<b>+62 円</b>	<b>+ 39.2%</b>
<b>Core EPS</b>	<b>139 円</b>	<b>181 円</b>	<b>+42 円</b>	<b>+ 30.0%</b>



# 損益計算書（財務ベース） 2017年度第2四半期

(億円)	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	対前年同期	
<b>売上収益</b>	<b>4,168</b>	<b>4,332</b>	<b>+164</b>	<b>+ 3.9%</b>
<b>売上総利益</b>	<b>2,753</b>	<b>3,113</b>	<b>+360</b>	<b>+ 13.1%</b>
対売上収益比率	66.1%	71.9%		+5.8pp
販売費及び一般管理費	△1,460	△1,514	△54	△ 3.7%
研究開発費	△754	△794	△40	△ 5.3%
<b>非定常項目</b>	<b>—</b>	<b>2</b>		
<b>Core Earnings</b>	<b>539</b>	<b>807</b>	<b>+268</b>	<b>+ 49.7%</b>
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△472	△244	+228	+ 48.3%
その他の営業収益/費用	24	△167	△191	NA
<b>非定常項目（振り戻し）</b>	<b>—</b>	<b>△2</b>		
<b>営業利益</b>	<b>91</b>	<b>394</b>	<b>+302</b>	<b>NA</b>
対売上収益比率	2.2%	9.1%		+6.9pp
金融収益/費用	△33	△54	△21	△ 63.2%
持分法による投資損益	△5	8	+13	NA
<b>税引前当期利益</b>	<b>53</b>	<b>347</b>	<b>+294</b>	<b>NA</b>
法人所得税費用	199	△71	△270	NA
非支配持分	△5	3	+8	NA
<b>当期利益</b>	<b>248</b>	<b>280</b>	<b>+33</b>	<b>+ 13.1%</b>
<b>EPS</b>	<b>32 円</b>	<b>36 円</b>	<b>+4 円</b>	<b>+ 13.1%</b>
<b>Core EPS</b>	<b>68 円</b>	<b>79 円</b>	<b>+10 円</b>	<b>+ 15.0%</b>





# 財務ベース売上収益から実質的な売上収益への調整

(億円)	第2四半期				上期			
	2016年度	2017年度	対前年同期		2016年度	2017年度	対前年同期	
売上収益	4,168	4,332	+164	+ 3.9%	8,508	8,814	+306	+ 3.6%
為替影響*	163	△57		△5.2pp	125	△78		△2.4pp
為替影響*除き売上収益	4,331	4,275	△56	△ 1.3%	8,633	8,736	+103	+ 1.2%
事業等の売却影響**	△342	△15		+8.1pp	△665	△233		+5.5pp
和光純薬	△189	-			△379	-		
テバJVへの長期取藏品	△58	△15			△133	△197		
呼吸器系疾患領域事業	△13	△1			△51	△1		
コントレイブ	△77	-			△91	-		
TAK-935	-	-			-	△35		
その他	△5	-			△11	-		
<b>実質的な売上収益</b>	<b>3,989</b>	<b>4,260</b>	<b>+271</b>	<b>+ 6.8%</b>	<b>7,968</b>	<b>8,503</b>	<b>+535</b>	<b>+ 6.7%</b>

\* 為替影響は、前期および当期に、17年度の計画レート (1ドル=110円, 1ユーロ=120円)を適用して算出しています。

\*\* 事業等の売却影響の前期には、主に和光純薬の前期の売上収益と2017年5月にテバ社との合併会社に売却した長期取藏品にかかる前期の売上を含めています。

また、当期には、主に当該長期取藏品にかかる当期の一時的な売却益などを含めています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイト掲載のエクセル調整表をご参照ください。



# 営業利益から実質的なCore Earningsへの調整

(億円)	第2四半期			上期				
	2016年度	2017年度	対前年同期	2016年度	2017年度	対前年同期		
<b>営業利益</b>	<b>91</b>	<b>394</b>	<b>+302</b>	<b>NA</b>	<b>1,621</b>	<b>2,343</b>	<b>+723</b>	<b>+ 44.6%</b>
無形資産の償却費および減損損失	472	244	△228		757	569	△188	
その他の営業収益/費用	△24	167	+191		△1,067	△1,049	+18	
非定常項目	-	2	+2		-	8	+8	
<b>Core Earnings</b>	<b>539</b>	<b>807</b>	<b>+268</b>	<b>+ 49.7%</b>	<b>1,310</b>	<b>1,871</b>	<b>+560</b>	<b>+ 42.8%</b>
為替影響*	30	△12	△42		40	△21	△61	
事業等の売却影響**	△94	△12	+82		△225	△224	+1	
和光純薬	△7	-	+7		△28	-	+28	
テバJVへの長期収載品	△56	△11	+45		△128	△189	△61	
呼吸器系疾患領域事業	△6	△0	+6		△36	0	+36	
コントレイブ	△21	-	+21		△29	-	+29	
TAK-935	-	-	-		-	△35	△35	
その他	△3	-	+3		△4	-	+4	
<b>実質的な Core Earnings</b>	<b>475</b>	<b>784</b>	<b>+309</b>	<b>+ 64.9%</b>	<b>1,126</b>	<b>1,625</b>	<b>+500</b>	<b>+ 44.4%</b>

\* 為替影響は、前期および当期に、17年度の計画レート (1ドル=110円, 1ユーロ=120円)を適用して算出しています。

\*\* 事業等の売却影響の前期には、主に和光純薬の前期の営業利益と2017年5月にテバ社との合併会社に売却した長期収載品にかかる前期の利益を含めています。  
また、当期には、主に当該長期収載品にかかる当期の一時的な売却益などを含めています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイト掲載のエクセル調整表をご参照ください。



# 当期利益から実質的なCore当期利益への調整

(億円)	第2四半期				上期			
	2016年度	2017年度	対前年同期		2016年度	2017年度	対前年同期	
<b>当期利益</b>	<b>248</b>	<b>280</b>	<b>+33</b>	<b>+ 13.1%</b>	<b>1,243</b>	<b>1,728</b>	<b>+485</b>	<b>+ 39.0%</b>
<b>EPS</b>	<b>32 円</b>	<b>36 円</b>	<b>+4 円</b>	<b>+ 13.1%</b>	<b>159 円</b>	<b>221 円</b>	<b>+ 62 円</b>	<b>+ 39.2%</b>
無形資産の償却費および減損損失	312	182	△130		508	401	△106	
その他の営業収益/費用	△41	136	+177		△724	△700	+24	
投資有価証券の売却益	0	△12	△12		△0	△68	△68	
その他の非定常項目の調整	15	27	+12		63	53	△10	
<b>Core当期利益</b>	<b>534</b>	<b>614</b>	<b>+80</b>	<b>+ 15.0%</b>	<b>1,090</b>	<b>1,415</b>	<b>+326</b>	<b>+ 29.9%</b>
<b>Core EPS</b>	<b>68 円</b>	<b>79 円</b>	<b>+10 円</b>	<b>+ 15.0%</b>	<b>139 円</b>	<b>181 円</b>	<b>42 円</b>	<b>+ 30.0%</b>
為替影響*	34	19	△15		51	25	△26	
事業等の売却影響**	△65	△8	+57		△152	△156	△4	
<b>実質的なCore当期利益</b>	<b>503</b>	<b>625</b>	<b>+122</b>	<b>+ 24.3%</b>	<b>989</b>	<b>1,285</b>	<b>+296</b>	<b>+ 29.9%</b>
<b>実質的なCore EPS</b>	<b>64 円</b>	<b>80 円</b>	<b>+16 円</b>	<b>+ 24.3%</b>	<b>127 円</b>	<b>165 円</b>	<b>+ 38 円</b>	<b>+ 29.9%</b>

\* 為替影響は、前期および当期に、17年度の計画レート (1ドル=110円, 1ユーロ=120円)を適用して算出しています。

\*\* 事業等の売却影響の前期には、主に和光純薬の前期の当期利益と2017年5月にテバ社との合併会社に売却した長期取載品にかかる前期の利益を含めています。  
また、当期には、主に当該長期取載品にかかる当期の一時的な売却益などを含めています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイト掲載のエクセル調整表をご参照ください。



# 損益計算書（実質ベース） 2017年度上期

(億円)	2016年度	2017年度	対前年同期	
	上期	上期		
実質的な売上収益	7,968	8,503	+535	+ 6.7%
実質的な売上総利益	5,513	6,114	+601	+ 10.9%
対売上収益比率	69.2%	71.9%		+2.7pp
販売費及び一般管理費	△2,879	△2,949	△70	△ 2.4%
研究開発費	△1,508	△1,539	△31	△ 2.1%
実質的なCore Earnings	1,126	1,625	+500	+ 44.4%
対売上収益比率	14.1%	19.1%		+5.0pp
金融収益/費用	△22	△33	△11	△ 50.4%
持分法による投資損益	53	27	△27	△ 49.9%
実質的なCore税引前当期利益	1,157	1,619	+462	+ 39.9%
法人所得税費用	△163	△335	△172	NA
非支配持分	△5	1	+6	NA
実質的なCore当期利益	989	1,285	+296	+ 29.9%
実質的なCore EPS	127 円	165 円	+38 円	+ 29.9%



# 損益計算書（実質ベース） 2017年度第2四半期

(億円)	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	対前年同期	
実質的な売上収益	3,989	4,260	+271	+ 6.8%
実質的な売上総利益	2,729	3,069	+340	+ 12.5%
対売上収益比率	68.4%	72.0%		+3.6pp
販売費及び一般管理費	△1,485	△1,497	△12	△ 0.8%
研究開発費	△769	△788	△19	△ 2.5%
実質的なCore Earnings	475	784	+309	+ 64.9%
対売上収益比率	11.9%	18.4%		+6.5pp
金融収益/費用	△16	△24	△8	△ 47.8%
持分法による投資損益	22	19	△3	△ 15.0%
実質的なCore税引前当期利益	481	778	+297	+ 61.9%
法人所得税費用	24	△157	△181	NA
非支配持分	△2	3	+5	NA
実質的なCore当期利益	503	625	+122	+ 24.3%
実質的なCore EPS	64 円	80 円	+16 円	+ 24.3%



## 無形資産償却費および減損損失の見通し

(億円)	2016年度	2017年度	将来
無形資産の償却費	△1,125	△1,250	
ナイコメッド	△363	△390	資産の大半を2026年度までに償却
ミレニウム	△485	△400	ベルケイドは2017年度中に償却終了、 2018年度は20億円に減少
アリアド	△17	△200	Alunbrigのファーストライン承認取得後、 約150億円増加
減損損失	△443	△225	
無形資産償却費および減損損失	△1,567	△1,475	



# 純有利子負債/EBITDA倍率は2.0倍に低下 ノン・コア資産の売却は1,308億円のキャッシュを創出

## 2017年度上期 キャッシュ関連

(億円)	2016年度 第4四半期	2017年度 上期	
営業フリー・キャッシュ・フロー		846	
不動産の売却		319	} 1,308
和光純薬株式売却		845	
その他投資有価証券売却		143	
配当金		△ 710	
その他		△ 329	
現金の増減額 (△は減少)		1,114	
有利子負債	△ 11,449	△ 11,374	
純有利子負債	△ 8,243	△ 7,053	
有利子負債/EBITDA倍率	3.7 x	3.2 x	
純有利子負債/EBITDA倍率	2.7 x	2.0 x	



# 2017年度実質的な成長ガイダンスの2016年度ベースライン

(億円)	2016年度
<b>売上収益</b>	<b>17,321</b>
為替影響*	+194
事業等の売却影響 – 和光純薬の連結除外影響	△791
事業等の売却影響 – テバJVへの追加LLP売却の減収影響	△242
事業等の売却影響 – その他	△260
<b>実質的な売上収益</b>	<b>16,221</b>
<b>営業利益</b>	<b>1,559</b>
無形資産償却費および減損損失	+1,567
その他の営業収益	△1,435
その他の営業費用	+729
非正常項目	+32
<b>Core Earnings</b>	<b>2,451</b>
為替影響*	+53
事業等の売却影響 – 和光純薬、テバJV等	△460
<b>実質的なCore Earnings</b>	<b>2,044</b>
<b>対売上収益比率</b>	<b>12.6%</b>
<b>実質的なCore税率</b>	<b>26.0%</b>
<b>実質的なCore EPS (円)</b>	<b>192</b>

\* 同一為替レート（17年度計画レートの1ドル=110円、1ユーロ=120円等）を適用し影響額を算出しています。

(注) 現時点の前提に基づいています。2017年度の発生事実によっては、16年度ベースラインを再計算する可能性があります。





# 略語用語集

ALK	anaplastic lymphoma kinase 未分化リンパ腫キナーゼ	GI	gastrointestinal 胃腸	Neg	negative 陰性
AD	Alzheimer's disease アルツハイマー病	GvHD	graft versus host disease 移植片対宿主病	NERD	non-erosive reflux disease 非びらん性胃食道逆流症
ADC	antibody drug conjugate 抗体薬物複合体	H2H	head to head 直接比較	NSCLC	non-small cell lung cancer 非小細胞肺癌
ADHD	attention deficit hyperactivity disorder 注意欠陥多動性障害	HER2	human epidermal growth factor receptor 2 ヒト上皮成長因子受容体2	Ph+ ALL	Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia フィラデルフィア染色体陽性 ヒト急性リンパ性白血病
ARD	acid-related diseases 酸関連疾患	HL	Hodgkin's lymphoma ホジキンリンパ腫	R/R	relapsed/refractory 再発/難治
BTK	Bruton's tyrosine kinase ブルトン型チロシンキナーゼ	HR MDS	high risk myelodysplastic syndromes 高リスク骨髄異形成症候群	RA	rheumatoid arthritis リウマチ性関節炎
CD	Crohn's disease クローン病	IBD	inflammatory bowel disease 炎症性腸疾患	RCC	renal cell cancer 腎細胞がん
CIAS	cognitive impairment associated with schizophrenia 統合失調症に伴う認知障害	IO	immuno-oncology がん免疫治療	SCT	stem cell transplant 幹細胞移植
CML	chronic myeloid leukemia 慢性骨髄性白血病	LBD	Lewy Body Dementia レビー小体病	SCZ	schizophrenia 統合失調症
CNS	central nervous system 中枢神経系	mAb	monoclonal antibodies モノクローナル抗体	SLE	systemic lupus erythematosus 全身性エリテマトーデス
CRL	complete response letter 審査完了報告通知	MAOB	monoamine oxidase B モノアミン酸化酵素B	SR	steroid Refractory ステロイド難治性
CTCL	cutaneous T Cell Lymphoma 皮膚T細胞性リンパ腫	MDD	major depressive disorder 大うつ病性障害	SubQ	subcutaneous formulation 皮下投与製剤
DLBCL	diffuse large B cell lymphoma びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	MCI	mild cognitive impairment 軽度認知障害	TRD	treatment resistant depression 治療抵抗性うつ病
EGFR	epidermal growth factor receptor 上皮増殖因子受容体	MCL	mantle cell lymphoma マントル細胞リンパ腫	UC	ulcerative colitis 潰瘍性大腸炎
FL ALK+	front line ALK-positive 未分化リンパ腫キナーゼ 陽性（フロントライン適応）	MM	multiple myeloma 多発性骨髄腫		
FL HL	front line Hodgkin's lymphoma ホジキンリンパ腫（フロントライン適応）	MTCL	mature T-cell lymphoma 成熟型T細胞リンパ腫		

*Better Health, Brighter Future*



武田薬品工業株式会社